

# 自民の暴走にストップを！

**自民4減、自公で3分の2超**  
**社民党は国民の目線、働く者の立場**  
**に立って引き続き奮闘します！**

総選挙の結果が出ました。自民が単独で291議席で4議席減、自公で議席の3分の2を越える325議席。

阿部はるまさが立候補した千葉7区の結果は、別表の通りです。

この結果は、しかし国民が安倍政権を強く支持したことを意味しません。野党の選挙準備が整っていない状況突围の解散は、2年間の安倍政治の是非についての国民的議論を避けるやり方でした。国民は、安倍政治に対して疑問や不安を持ちつつも、野党のだらしなさも影響して、自民にノーを突きつけることを躊躇し、あるいは棄権を選んだのです。阿部治正と社民党は、次のことを力強く訴えました。

逆進性の消費増税は延期ではなくきっぱりと撤回するべきだ。  
アベノミクスはくらしと雇用を破壊しただけ。格差と貧困の是正こそが求められている。  
「戦争をする国」に向かう集団的自衛権行使の閣議決定は撤回すべき。予算は武器ではなく

齊藤健（自民） 111030 票  
石塚貞道（維新） 48651 票  
渡辺隆夫（共産） 27306 票  
阿部はるまさ（社民） 14718 票

く福祉や教育に回せ。  
放射能被ばくの隠蔽は許さない。市民と子どもの健康調査を実施しろ。原発の再稼働は許されない。脱原発。自然エネルギー中心の社会と経済をめざせ。

「いのち」（医療・介護・子育て・教育など、人と社会を育てる政策）と「みどり」（自然エネルギー・農業・林業など）の経済こそ、日本のような成熟経済の進むべき道、唯一の存続可能な社会のあり方だ。

しかし、国政の舞台では全く無名。立候補を表明したのが公示日の5日前。法定のチラシの印刷も間に合わないという状況の中で、有権者の中に十分に訴えを広げることが出来ませんでした。

とは言え、そんな中での14718票は、大変に重い票、有権者の皆さんの願いと期待が込められた票です。  
自公合わせて3分の2を越える新議席で、安倍首相がその暴走に更に拍車をかけることは間違いありません。社民党は、国民の目線、働く者の立場に立って、安倍政権との闘いを継続します。



小宮清子 県議



阿部はるまさ 元市議



吉野正好

# 格差と貧困拡大するアベノミクスにNOを！

## いのちとみどりの政策で社会の再生を

### ■安倍首相の野望は「戦争をする国」

今度の衆院選は「アベノミクスの信を問う」選挙と言われました。しかし、アベノミクスには、もともと大した中身はありません。歴代自民党政権が行ってきた経済政策の寄せ集め、二番煎じ三番煎じです。だから、失敗は当然でした。

安倍首相の野心は、憲法の改悪にあります。そのための露払いとしての秘密保護法、集団的自衛権行使容認でした。そして、原発の再稼働も首相の執念です。

### ■失敗の証拠がいっぱい、アベノミクス

アベノミクスの失敗の証拠は、まずGDP。4～6月が7.3%、7～9が1.0%と、二四半期連続のマイナス。

今春の賃上げは4万社近くの企業の内300社程度。それさえ物価高と消費増税で実質賃金は16ヶ月続いて減少。

雇用が増えたと言いますが、派遣などの不安定雇用が増えただけ、正規雇用は減り続けています。

第1の矢、市場にマネーをジャブジャブ注ぎ込む異次元金融緩和は、株高で一部の人々を儲けさせましたが、实体经济は冷え込んだまま。

円安で自動車産業などを潤わせたましたが、それも長続きしそうにありません。中小零細企業をコスト増で痛めつけ、そしてもっとも大きな犠牲を被ったのは庶民でした。

第2の矢の機動



的財政出動・大規模な公共事業。しかし、公共事業の大盤振る舞いが経済活性化に効果無しということとは、すでに長い自民党時代の政策で実証済み。与党の集票マシンへのテコ入れ策で、政治家の癒着や汚職の温床です。

国家財政の規律が緩み、財政赤字を膨れあがらせていますが、そのツケを更なる消費増税、社会保障や福祉の削減で庶民の肩に押しつけようとしています。

第3の矢の産業競争力強化はどうか。規制緩和の徹底などと言いながら、古い利権産業にばかりしがみついています。その典型が原発。

そして結局は、統合型リゾートつまりカジノの導入と振興が経済活性化の切り札だと言い始めています。しかしカジノなどは、日本の経済の本当の活性化とは全く無縁、それどころかそれとはもっともかけ離れた賭博行為です。導入した国ではギャンブル依存症の問題が深刻化しています。

### ■雇用のルールの改悪は許さない

産業競争力強化策のもつひとつの目玉が、労働法制の規制緩和、雇用のルールの改悪です。

派遣法改悪により、派遣労働者を拡大、正規社員を派遣に置き換えていく計画。ホワイトカラーエグゼンプションで労働時間規制を無くし、残業代はただ働き。企業が労働者を解雇しやすくなるための解雇のルールの緩和。

こうした政策は、手っ取り早く企業に利益を得させるやり方。しかし、格差と貧困を一層拡大し、社会を不安定にし、崩壊させただけです。

暴走政治にストップをかけましょう。